

課 題	福井ミディマムの定植時期に関する試験		
担 当 者	浪花 恵 内藤 継吾		
目 的	加工用菊の需要が高まる中、福井県下では福井ミディマム [※] への取り組みを推進している。当市でも栽培普及を目指し、ふくい花卉出荷組合が選定した品種について、ミディマムの栽培指針を作成する。栽培期間を短縮するため、定植時期の検討を行う。(栽培期間を短くすることにより、農薬散布回数を減らすことができる。育苗時期を遅らせることができ、加温の必要性がなくなることで取り組みやすくなり、コスト削減も可能)		
供 試 品 種	白系：博士・久松・春駒 黄系：海野・入江・達雄		
試験区構成	1区 4/7 定植 2区 4/20 定植 3区 5/4 定植		
区制及び株数	1区 14株 2反復		
耕 種 概 要	栽培条件	露地	
	挿し芽	1区 3/23、2区 4/6、3区 4/20	
	定植	試験区構成のとおり	
	栽植密度	1,666本/a うね幅1.2m株間10cm2条植え 20cm×3目ネット使用 中1条抜き	
	施肥量	元肥	
		有機石灰	10kg/a
		ウレアホルム有機入り複合肥料222Z	20kg/a
		草木カリ	0.5kg/a
		粒状BMようりん	2kg/a
		燐硝安加里S604号	4kg/a
		成分量	N3.0-P3.2-K3.1 kg/a

結果及び考察 採花時期については、1区と2区ではそれほど変わらず、3区が遅れる傾向がある(図1)。ミディマムの出荷期間(7月中旬から8月上旬。今年は7/15~8/5)に採花を行いたいと考えた場合、博士・海野では、どの区も早すぎ、入江・春駒・達雄では3区が良く、久松では1・2区と3区の間がちょうどよいと考えられる。しかしながら、今年は春の気温が例年より高い傾向にあり、花芽分化が早まったと推測され、今年だけの結果から採花期を決めるのは難しい。

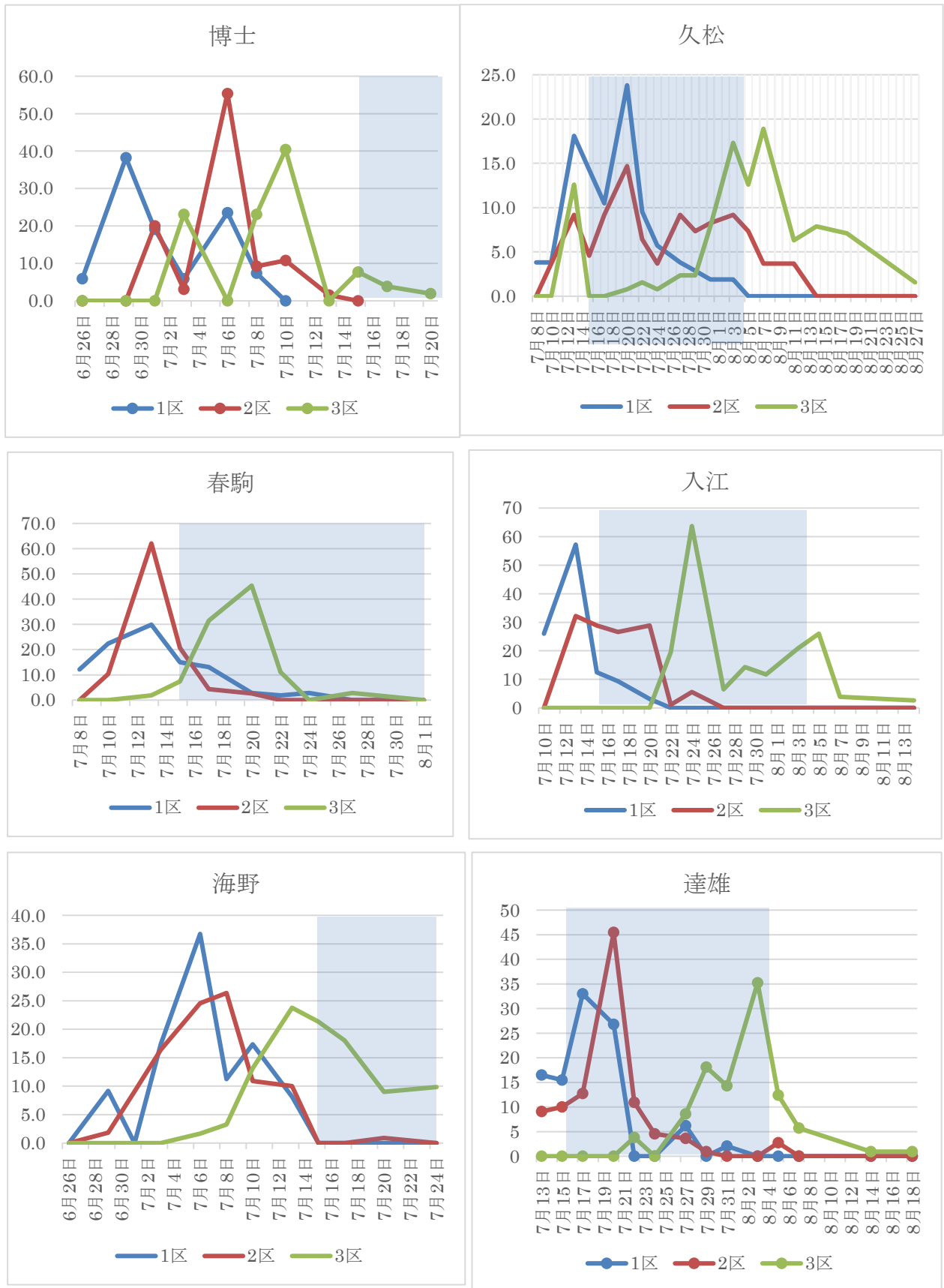


図1 各品種ごとの定植時期と採花期の関係 (全体の採花量に占める各日の採花量(%))

品質については、1区より2区が優れているものもあり、3区は草丈や切花重について劣った。(表1)

定植時期と品質の関係をみると、一般的に行われている4月上旬の定植より、4月下旬の定植で草丈の伸びもよく、適していると考えられる。5月上旬の定植では、ミディマムの出荷時期に採花できるものも多いが、ボリュームが落ちるため、無理に遅く定植するよりも、4月下旬の定植で出荷時期に開花する品種を選定する方が良いと考えられる。

表1 定植時期による品質への影響

品種		切花重 (g)	切花長 (cm)	調整重 (g)	花房幅 (cm)	茎径 (mm)	節数 (節)	花蕾数 (個)	有効花蕾 数(個)
博士	1区	36.8	51.0	17.3	5.6	4.9	28.5	17.9	10.5
	2区	33.5	65.9	24.7	7.8	4.7	23.3	14.5	8.4
	3区	26.8	56.6	19.6	6.3	4.8	23.2	14.3	8.7
久松	1区	40.6	71.1	29.0	6.4	5.3	31.6	14.1	7.3
	2区	41.4	72.7	30.8	7.3	5.2	26.1	14.5	7.7
	3区	41.1	73.4	28.2	5.8	4.6	25.5	14.1	8.7
春駒	1区	31.8	60.9	23.4	5.1	3.3	20.8	12.6	5.2
	2区	34.8	63.8	25.7	8.2	5.1	27.4	19.1	7.1
	3区	26.8	57.0	21.0	6.4	4.6	24.5	14.9	6.5
海野	1区	36.4	59.0	27.9	5.0	2.7	13.6	13.3	3.9
	2区	46.5	57.3	37.5	5.3	1.9	6.2	11.5	3.1
	3区	38.0	54.3	30.3	6.6	3.2	12.3	12.9	4.6
入江	1区	37.8	60.8	28.8	7.0	6.0	33.7	28.9	8.0
	2区	46.1	65.1	36.3	9.1	6.3	31.0	33.7	8.5
	3区	40.2	63.4	31.5	8.7	5.7	32.3	35.7	5.7
達雄	1区	35.4	61.5	28.0	9.7	5.4	26.7	26.5	7.7
	2区	31.3	59.0	25.6	8.0	5.2	26.0	20.9	8.0
	3区	28.2	55.2	23.3	8.5	5.1	21.8	26.7	7.9

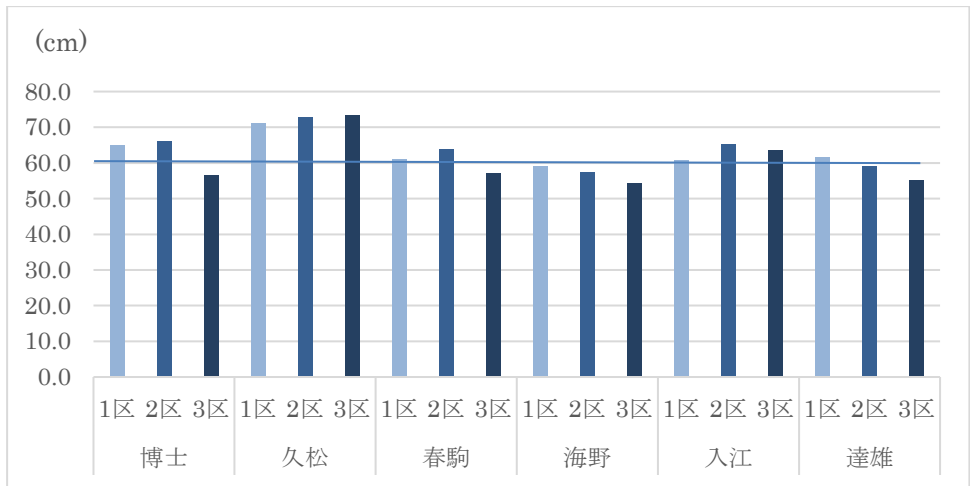


図2 切花長

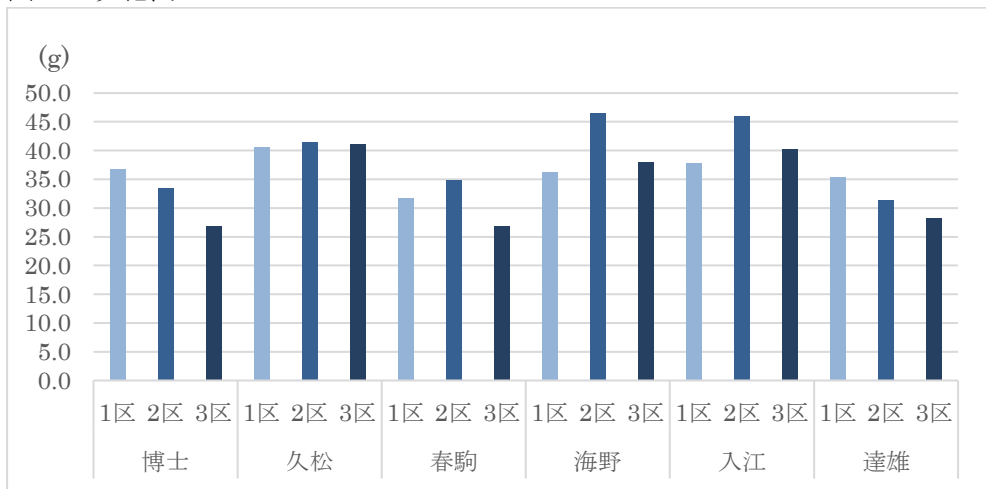


図3 切花重

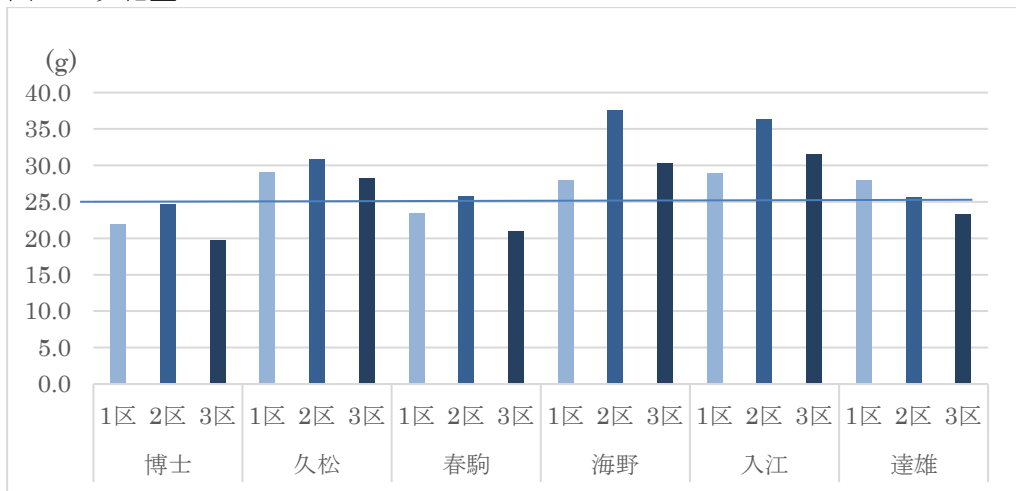


図4 調整重

※調整重…60 cmの長さに切り、下葉を 30cm 落とした状態での重量（切花長が 60cm 未満のものは、切花長の半分まで下葉を落とした状態とする）